

# 誕生 瀬戸内市

## 邑久郡3町が一つに

牛窓町・邑久町・長船町の3町が対等合併し11月1日、「瀬戸内市」が誕生しました。新市の人口は4万6700人（同日現在）、3,691世帯、面積は125.51平方キロ。新市発足は、県内では1971年4月の備前市以来33年ぶり、11番目となります。



本庁舎開庁式で、市旗が掲揚されました

11月1日午前8時、瀬戸内市役所本庁舎（旧邑久町役場）の玄関前で開庁式を開催。真新しい瀬戸内市の市旗が掲揚されました。

東原和郎市長職務執行者（旧牛窓町長）は、職員約200人を前に、「新しい時代に対応した自治体構築のため、合併を選択した。合併のメリットを大きなものにし、デメリットを小さくして、住民の幸せのため、職員は行政のプロとして自分が何をなすべきかを考え、心を一つにして一致協力し職務に専念してほしい」と訓示。テープカットを行い、新市誕生を祝いました。

牛窓庁舎で牛窓支所と教育委員会、長船庁舎で長船支所と保健福祉部局の開庁式がそれぞれ開催され、関係者らが除幕を行いました。

開庁式後、職員一人ひとりに辞令が手渡され、業務がスタート。窓口には、住民の皆さんが次々に訪れ、瀬戸内市の市章入りの住民票や、「瀬戸内市」と記されたバイクのナンバープレートなどを受け取っていました。



東原市長職務執行者(左)から部長・支所長に辞令が交付されました



住民の皆さんが、市役所を訪れ住民票などを申請



牛窓支所で除幕式が行われました



職員を前に、長船支所長(中央)が市長職務執行者のあいさつを代読

## 市民総参加で 協働と共助の新しいふるさとづくりを

### 市長職務執行者 東原和郎

11月1日、旧邑久郡3町の合併により「瀬戸内市」が誕生し、輝かしい未来の地方自治に向かって船出をいたしました。

岡山県内では30数年ぶりの新市の誕生であり、4万人の仲間が仲良く手を取り合って、安心して安全、幸せを感じることができる活力のある地域づくりが期待されています。

一方、住民の皆さま方には、合併による広域化で、きめ細かい行政サービスが後退するのではないかと、役所が遠くなる…などのご心配

があるのも事実でしょう。そのようないわゆるデメリットを少しでも小さくし、一方、合併による行財政改革効果を最大限に発揮し、さらに複雑・多様化する行政需要に、より専門的対応ができるようにするため、旧町単位の支所機能の充実、福祉事務所の設置などを行ってまいります。

今後さらに職員の一層の意識改革など重要な課題が山積し、よりグローバルな発想と、よりローカルな行動が求められているものと思います。

いずれにしても、将来、合併してよかった“と言えるよう、市民総参加、協働と共助の新しいふるさとづくりにお互いの連携、協力を期待しているところであります。

新市長決定までの短い期間の任務ではありますが、瀬戸内市発足に当たって、市民各位のご健勝、ご多幸をお祈りし、ご挨拶いたします。

